

写真



＼道の駅「ごいせ仁摩」定礎石文字の筆耕／

9月24日（金）

建設が進む道の駅「ごいせ仁摩」の担当者から、定礎石に刻む「定礎」の文字を、邇摩高生に書いてもらえないかという打診がありました。

書道部の顧問の先生を通じて生徒にあたってもらったところ、2年1組の三代千晴さんが、快く引き受けてくれました。

彼女は小学校に入学した頃から書道を習っていて、現在7段ということで、書道教室の先生の指導を受けながら3日かけて書きあげてくれました。

最初は自分で良いのかとも思ったそうですが、周囲の人に自分が書道をやっていることを知ってもらいたいので、引き受けてくれたそうです。

記念碑と違って、定礎石の字は誰が書いたかは明らかにされませんが、友人や親せきの人たちには、自分が書いたことを話したいともっていました。

邇摩高校では、特産品の開発を行ったり、神楽などの披露をしたりなど、道の駅「ごいせ仁摩」に何か貢献できることはないかと「探究学習」で取り組んでいます。今回の筆耕も、その一つになれば良いなと思います。

大田市教育魅力化コーディネーター（邇摩高校） 森本

邇摩高 HP はコチラ ⇒ <https://www.nima.ed.jp/>